

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	総合窓口			担当課名	住民環境課
(予算書コード)	02-03-01-05-01	02-03-01-10-01	02-03-01-12-01	担当係名	総合窓口係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	戸籍法、住民基本台帳法				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	来庁者に対し、各種証明書発行、戸籍の届出、住民異動届の受付、個人番号カード関連事務を行っている。また毎月第2・第4日曜日には休日窓口を開設し、開庁時間に来庁できない方への証明書発行や印鑑登録、マイナンバーカードの交付等を行い、利便性を図っている。またマイナンバーカードを利用し、全国のコンビニエンスストア等でも各種証明書を取得できる証明書コンビニ交付事業を行っている。その他にも庁舎の案内や切手類等の販売、新和田トンネル有料道路時間常割引通行券の販売を行うほか、住民異動や死亡後の手続きなど、各課・係に跨る手続きをワンストップで行い、手続きの簡素化、サービスの向上を図っている。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
		目標設定できない		目 標			
				実 績			
				達成率			

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A	14,015 千円		18,944 千円		9,790 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	7.00 人	46,193 千円	4.70 人	30,159 千円	4.30 人	29,021 千円	
事業費合計 C (A+B)		60,208 千円		49,103 千円		38,811 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	2,963 千円		9,254 千円		898 千円	
		県の負担	27 千円		28 千円		26 千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	8,640 千円		7,419 千円		8,389 千円	
		うち 使用料・手数料 D	8,640 千円		7,419 千円		8,389 千円	
一般財源 (町の負担)		48,578 千円		32,402 千円		29,498 千円		
受益者負担率 (D/C)		14.35 %		15.109 %		21.615 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	民間に委託することも可能であるが、民間委託できない業務との兼務の職員が多いため、一部の業務を切り離して委託することは難しい。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	下諏訪町の住民や、本籍がある方全てを対象としている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	総合窓口として、諸手続きが1か所で行えるよう「ワンストップ」の窓口づくりを目指し、他部署との連携を図りながら、効率的に業務を行っている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)		利用件数ではなく、住民の利便性を重視しているため、目標設定は住民サービスの向上としての位置づけとしたい。

総合評価	現状維持	総合窓口としての役割は広く住民に周知されていると感じる。諸手続きのワンストップ化を進め、本年度設置した「受付番号呼出システム」により、円滑な窓口対応につながった。また月2回の休日窓口の開設を引き続き行い、住民サービスの拡充を図っている。今後も町民からのニーズに応えながら、業務を行っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	有料道路利用者負担軽減事業			担当課名	住民環境課
(予算書コード)	02-01-09-05-01			担当係名	総合窓口係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	平成 28 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	下諏訪町新和田トンネル有料道路時間帯割引通行券販売要綱				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	長野県が実施している「長野県有料道路利用者負担軽減事業」を受け、日常的に新和田トンネル有料道路を通行する方に対し、経済的負担の軽減を図るため、「時間帯割引通行券」の販売を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	目 標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		目標設定できない		実 績			/
				達成率			/

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A	1,547 千円		1,567 千円		1,681 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	0.10 人	660 千円	0.10 人	642 千円	0.10 人	675 千円	
事業費合計 C (A+B)		2,207 千円		2,209 千円		2,356 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担		千円		千円		千円
		県の負担		千円		千円		千円
		町の借入		千円		千円		千円
		その他		1,133 千円		1,620 千円		1,400 千円
		うち 使用料・手数料 D		1,133 千円		1,620 千円		1,400 千円
一般財源 (町の負担)			1,074 千円		589 千円		956 千円	
受益者負担率 (D/C)			51.337 %		73.336 %		59.423 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	県の事業を受けて行っており、販売方法を検討した結果、住民環境課総合窓口係で販売することとなったため。(「下諏訪町新和田トンネル有料道路時間帯割引通行券販売要綱」を定めている。)
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	下諏訪町の住民で、日常的に新和田トンネルを通行する方を対象としている。法人は対象外。通行券費用の負担割合(利用者が5割負担)は県が上限を定めたものである。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	事業開始から5年が経過し、適正購入枚数の把握がある程度できるようになっている。また、新規での購入者も増えており、制度は周知されている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)		販売件数ではなく、利用者負担の軽減を目指しているので目標設定は出来ないが、新和田トンネルを日常的に使用している方の経済的負担の軽減という役割は果たしている。

総合評価	現状維持	平成28年度からスタートした事業で、年によって利用者数の増減はあるが、日常的に新和田トンネルを利用する方の負担軽減を図るという事業の主旨をPRしながら、転売や法人利用とならないよう適正に事業を行っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	個人番号関連事業				担当課名	住民環境課
(予算書コード)	02-03-01-14-01				担当係名	総合窓口係
事業区分	単年度予算	運営方法	補助			
事業の開始・終了	平成 27 年 4 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	住民基本台帳法、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	住民票を有する町民に対し、マイナンバーカードの交付や、マイナンバーカードに搭載された電子証明書の更新等を行う。 デジタル行政の推進の観点から、広く町民にマイナンバーカードの取得を促す。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	マイナンバーカード交付枚数	マイナンバーカード交付円滑化計画(令和元年度策定・2年度改訂)に基づき算出	枚	目標	3,870	6,236	14,066
				実績	3,721	5,512	
達成率	96.1%	88.4%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	2,787 千円		11,452 千円		13,367 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	1.00 人	2,221 千円	3.00 人	6,734 千円
	正規職員人件費 B	0.50 人	3,299 千円	1.90 人	12,192 千円	2.30 人	15,523 千円
事業費合計 C (A+B)		6,086 千円		23,644 千円		28,890 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	2,761 千円	11,672 千円	13,252 千円		
		県の負担	千円	千円	千円		
		町の借入	千円	千円	千円		
		その他	46 千円	18 千円	25 千円		
		うち 使用料・手数料 D	46 千円	13 千円	8 千円		
一般財源 (町の負担)		3,279 千円		11,954 千円		15,613 千円	
受益者負担率 (D/C)		0.756 %		0.055 %		0.028 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性	A	法律で義務付けられている。現住所でのカード交付やカード券面事項等の変更は、法令で定められている。
公平性	A	適切である。住民票を当町に有しており希望があれば誰でも取得できる。紛失等によるカード再発行のみ費用負担を求めている。
効率性	A	適切である。カード作成費用や、カード交付などに係る費用は国が補助を行っている。(個人番号カード交付事業費補助金、事務費補助金)
達成度	C	目標値以下である。マイナンバーカードが利用できる機能がまだ少ないことや、マイナンバーカードの安全性などに不安を持つ方も多い。

総合評価	拡 充	各課と連携しながら、町民にマイナンバーカードの安全性や機能について理解を得られるよう努めるとともに、今後も企業や公民館等での出張申請や申請サポートを行っていく。また、マイナンバーカードの利活用について、他市町村の状況なども参考にしながら、町としてどんな活用方法ができるのか検討していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	コンビニ証明書交付事業			担当課名	住民環境課
(予算書コード)	02-03-01-16-01			担当係名	総合窓口係
事業区分	単年度予算	運営方法	委託		
事業の開始・終了	平成 31 年 3 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	マイナンバーカードを使って、全国のコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機で、各種証明書(住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本・戸籍附票の写し・所得課税扶養証明書)の発行が可能である。役場の開庁日や開庁時間だけではなく、いつでもどこでも各種証明書が取得でき、利用者の利便性の向上を図る。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	目標	令和元年度	令和2年度
		目標設定できない		実績		
				達成率		

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	4,765 千円		5,213 千円		5,756 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.30 人	1,980 千円	0.30 人	1,925 千円	0.30 人	2,025 千円
事業費合計 C (A+B)		6,745 千円		7,138 千円		7,781 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円		
		県の負担	千円	千円	千円		
		町の借入	千円	千円	千円		
		その他	142 千円	195 千円	375 千円		
		うち 使用料・手数料 D	142 千円	195 千円	375 千円		
一般財源 (町の負担)		6,603 千円		6,943 千円		7,406 千円	
受益者負担率 (D/C)		2.105 %		2.732 %		4.819 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	C	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか やや不適切である
効率性	B	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 検討の余地がある
達成度		事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 事業はマイナンバーカード保有者に限られ、全ての住民ではないため目標設定は困難である。

総合評価	拡 充	マイナンバーカードを使用したサービスであるため、まずはコンビニでの証明書発行のPRを推進する。またマイナンバーカードの普及率が向上すれば、庁舎窓口ではなく、コンビニで証明書発行するメリット(例えば交付手数料の引き下げ等)を検討しても良いのではないかと考える。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		